

がまき 議会だより

第94号

平成27年11月1日号



ペガサスホール再開

TOPICS

26年度決算	2～4
9月定例会	5・6
議決結果	7
一般質問	8～11
白浜町議会が視察に	12
議会日誌	12

決算特別委員長報告

9月3日の本会議で設置された決算特別委員会（委員長・東議員）は、委員長のほか委員5名（長岡、服部、辻、遠山、牧浦）で、9月10日から12日までの3日間行われた。

同委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の7会計で、それぞれの会計決算について慎重審議の結果、全委員異議なく原案のとおり認定した。

★決算の概要

平成26年度決算の一般会計の実質収支額は、2億9,932万3千円の黒字となり、単年度収支も1,818万6千円の黒字となった。主な要因として、歳入については、町内に大規模店舗がオープンしたことによる地方税の増や特別交付金の増が考えられ、

歳出については、昨年度に土地開発公社が解散したことで運営費補助金の支出がなくなることや普通建設事業の減が考えられる。特別会計においても全5会計において黒字決算となり、実質収支額が1億8,771万円となった。



決算特別委員会

★一般会計

【総評】

◎ 経常収支比率が前年度比5・8%の上昇（悪化）となったが、

その要因と今後の見通しは。

◎ 経常収支比率の悪化は、公債費の第三セクター等改革推進債の償還が始まったこと、人件費の職員給与削減をしていたものを元に戻したことで支出が増えていることが要因と考えられる。今後は、

第三セクター等改革推進債の繰上償還等を実施し、公債費を削減することを主として改善に努めていきたい。

◎ 職員の健康管理体制や相談体制について。

◎ 現在、上牧町職員安全管理規程の作成をしているところであり、産業医の導入や職員に対するストレスチェック等をおこない、カウンセリングの体制を整えていきたい。

【歳入】

◎ 町税の徴収率増に向けた取組みについて。

◎ コンビニ店増加にあわせコンビニ収納制度を導入した。また、催告書を色付きのものに変えたり、負担軽減のため納期を年3回から年4回に変更し改善に努めた。また滞納分については、きめ細かく対処し、特に納付額が少額で負担が大きくならぬうちに、対応できるよう努めてきた。

◎ 町税が前年比7%、1億4,019万8,000円増加した要因と今後の見通しは。

◎ 大規模店舗アピタ周辺の固定資産税の増が大きく、固定資産税で前年度比1億1,891万円（17・4%）の増であった。その他、個人住民税が2・0%の減、法人住民税が0・6%の増、軽自動車税が5・3%の増、たばこ税が4・2%の増であった。今後は個人住民税については緩やかな減少、その他の税についてはほぼ横ばいではないかと想定している。

◎ 「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業補助金」について、がん検診の受診率と今後の

平成26年度各会計別決算額

		歳入	歳出	平成27年度へ繰越す財源	実質収支	
一般会計		89億5,646万円	85億9,029万円	6,685万円	2億9,932万円	
特別会計	国民健康保険	29億1,739万円	27億8,766万円		1億2,973万円	
	後期高齢者医療	2億6,987万円	2億6,627万円		360万円	
	住宅新築資金等貸付事業	849万円	767万円		82万円	
	下水道事業	6億3,742万円	6億2,773万円		969万円	
	介護保険	保険事業勘定	14億9,389万円	14億5,545万円	20万円	3,824万円
		介護サービス事業勘定	1,575万円	1,013万円		562万円
水道事業会計	収益的収入支出(税抜き)	4億7,374万円	4億1,686万円		5,688万円	
	資本的収入支出(税抜き)	939万円	3,631万円		△ 2,692万円	

受診率向上に向けての取り組みについて説明を求めます。

【答】 受診率向上に向け、年に一度日曜日に集団検診を取り入れたが、乳がん検診の受診率18.6%、子宮がん検診の受診率は19.2%と低いものであった。この事業において20%の受診率を目標にやっていきたい。

【問】 リサイクル収益金、ペットボトル有償入札拠出金が前年度より増収になった要因は。

【答】 リサイクル収益金、ペットボトル有償入札拠出金の増収は、全て町民の皆様のご協力によるもので感謝申し上げます。

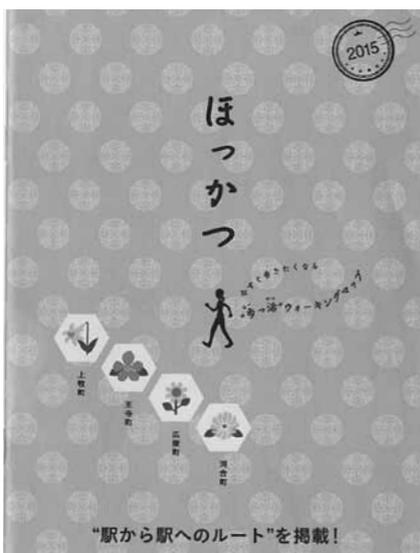
【歳出】

【問】 北葛城地区観光パンフレット作成についての説明を求めます。

【答】 観光地を列記し、ウォーキングで周遊できる観光パンフレットを9,000部北葛城郡4町で作成した。今後は北葛4町の文化施設等も含めた活用も周知していきたい。

【問】 防犯カメラ設置についての説明を求めます。

【答】 現在の設置状況は、庁舎や町内の公共施設、学校、幼稚園に計41台設置している。本年度、新たに主要幹線3箇所を設置予定である。



観光パンフレット

問 農地基本台帳整備にともなう今後の遊休農地の有効活用について見解をうかがう。

答 現段階で具体的な遊休農地の活用案の検討には至っていないが、今後整備した台帳を役立てながら検討していきたいと考えている。

問 防災士の育成について見解をうかがう。

答 平成26年度は10名が研修を受講し、防災士は延べ64名となった。



問 幼稚園就園奨励費について。

将来的な少子化対策の一環として、国の基準に見合う補助金を次年度以降予算化し、交付されるよう検討を求める。

答 財政担当課と協議しながら検討を進めていきたい。

★国民健康保険特別会計

問 徴収率71・9%（前年比0・3%増）に対する所見と徴収率向上に向けた今後の取り組みについて。

答 現年度分に限れば過去10年間で最高の徴収率（94・6%）であった。奈良モデルをもとに、近隣市町村と連携を取り徴収率向上の検討会議を重ね、担当職員の意欲向上にも努めている。

問 特定健康診査の受診率について。

答 国の特定健康診査受診率目標値60%をもとに予算計上したが、実績は受診率23・18%で前年を下回る結果となった。今年度より人間ドックの助成を始め、他ががん検診とセットにすることにより、引き続き受診率の向上に努めたい。

★後期高齢者医療特別会計

問 特定健康診査の受診率向上について。

答 健診対象者2,366人に対し、個別健診407人、集団健診26人、受診率は18・3%であった。受診率は低くなっているが、ほとんどの方は病院でなんらかの検査を受けて健康管理をしていると思われる。

し、個別健診407人、集団健診26人、受診率は18・3%であった。受診率は低くなっているが、ほとんどの方は病院でなんらかの検査を受けて健康管理をしていると思われる。



★介護保険特別会計

問 「配食見守り」「緊急通報見守り」事業の現状について。

答 配食見守り事業については、50名の応募に対し実績29名、緊急見守り事業については現在80名が利用している。平成26年度より所得制限がなくなったので、今後多くの方に利用して頂けるよう取り組んでいく。

問 認知症ケアパス作成の今後の取り組みについて見解をうかがう。

答 認知症高齢者相談事業として信貴山メンタルクリニックに委託し、毎月第4水曜日に相談事業を実施した。この相談事業の内容等を検討し基盤として、平成27年度においては認知症ケアパスの作成に取り組んでいる。

★下水道事業特別会計

問 アピタ開店に伴い交通量が増加しているので、マンホールの蓋及びマンホール周辺の舗装整備が必要と思われるが見解をうかがう。

答 今後、点検や補修を検討していきたい。



緊急通報装置

総務建設委員長報告

■上牧町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下、「マイナンバー法」という）の施行に伴い、特定個人情報の取り扱い等を規定するために、既存の上牧町個人情報保護条例を改正する。

○ 条例で定める以上に運用上の情報漏洩の防止が重要と考えるが、その取組みについて説明を求める。

○ 上牧町セキュリティポリシーにより庁舎内のセキュリティ管理を行い、併せてネットワーク整備事業にも取り組んでいる。今後職員研修も行い、適正な処理を進めていく。

■上牧町手数料徴収条例の一部を改正する条例

マイナンバー法の施行に伴い、通知カード又は個人情報カード

の再交付手続き等を規定するために、既存の上牧町手数料徴収条例を改正する。

通知カードの再交付手数料
一件につき 500円
個人番号カード再交付手数料
一件につき 800円



■平成27年度一般会計補正予算(第2回)

3億7,542万7千円増額

○ 町営住宅の管理業務に伴う過重な負担が職員にかかっており、早い段階で弁護士等専門職を有効活用してはどうか。

○ 今回の補正予算で町営住宅や改良住宅における滞納処分や明け渡し請求にかかる弁護士料を計上している。次年度からも予算計上していく。

○ 服部台老人憩の家の下水道接続工事、非常階段改修工事についての説明を求める。

○ 服部台老人憩の家の前が下水道供用開始となったための工事並びに非常階段踊場のコンクリート改修工事である。

○ 道路水路管理補修工事の入札方法について、請負費500万円についての説明を求める。

○ 入札については、入札規程に基づいて入札依頼をかけて行う。請負金額の表記については、各事業と緊急・突発的なその他工事を明確に区分し、もう少しわかりやすく示していく。

■平成27年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)

■訴訟の提起について
事件名
不法占有改良住宅明渡し請求

■訴訟の提起について

事件名
町営住宅明渡し及び町営住宅並びに改良住宅使用料滞納請求

■地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

「人口減少問題・地域活性化」の為に28年度に創設される交付金です。今後の継続的な支援や、人件費、ハード事業などにも活用できることを求めるものです。

長岡議員より5名の賛成議員（富木、遠山、辻、康村、堀内）と共に提案がありました。

以上採択の結果、いずれも全委員、異議なく可決しました。

文教厚生委員長報告

委員会付託しなかった議案

■平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

平成26年度決算による繰越金を基金に積み立てる。

問 基金残高の活用について。

答 財政調整基金については、平成30年度からの県単位化での保険料率をおさえるために基金を活用していくことを考えている。

問 平成27年5月から2万円を限度に助成している脳ドック・人間ドックの申し込み状況は。

答 250名の予算に対し80名であり、今後も広報をしていく。

■平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

問 保険年金課で保健事業にかかわる保健師の体制はどうか。

答 1名が産休に入り、生き活き対策課の保健師が兼務している。現在、2名募集中である。

■平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2回)

問 介護保険の制度改正の問い合わせや相談のため、地域包括支援センターでの土・日の対応が望まれているがどうか。

答 今後、検討していきたい。

■平成27年度水道事業会計補正予算(第2回)

問 資本的支出の施設負担金返還金166万円について説明を求める。

答 介護施設の建設が廃止になったため、開発に伴う協力を返還するものである。

■平成27年度下水道事業特別会計補正予算(第1回)

以上 5議案について採決の結果、全委員異議なく可決しました。

■人権擁護委員候補者の推薦

次の方が適任と認められました。

後藤 みどりさん(再任)

松里園

村井 映子さん(新任)

片岡台

東 弘さん(新任)

友が丘

永井 實さん(新任)

大字上牧

■教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、次の方が原案どおり同意されました。

暁 公美さん(新任)

葛城台

議会の欠席状況

9月定例会

康村昌史 議員

(9月16日)

■選挙管理委員会委員

小谷 洋子さん(再任)

大字上牧

小林 三紘さん(再任)

片岡台

出川 忠次さん(再任)

大字上牧

西田 久美子さん(新任)

桜ヶ丘

■選挙管理委員会委員補充員

隅田 泰徳さん(新任)

友が丘



平成27年9月定例会の議決結果

(平成27年9月3日～9月17日)

○賛成 ●反対 -除斥 ×棄権 空白は欠席

議案名	議決結果	長岡 照美	竹之内 剛	遠山健 太郎	牧浦 秀俊	辻 誠一	富木つ や子	康村 昌史	服部 公英	堀内 英樹	石丸 典子	東 充洋	吉中 隆昭
平成26年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
平成26年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度上牧町水道事業会計決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町一般会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町水道事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
訴訟の提起について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
訴訟の提起について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 議長は採決に加わりません

第6期介護保険事業計画始まる

—高齢者には健康で長生きを—



堀内 英樹

問 介護保険制度は、発足から15年経ち、団塊世代が高齢期を迎え、大きな転換点に立っているが、

答 今度の介護事業計画の特徴は、介護保険制度の基本理念は変わらないが、地域の自主性や主体性に基づいた地域包括ケアシステム（住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する仕組み）の構築である。

問 町長は計画書の巻頭で「生涯現役の長寿社会の実現」を目標とされたが、

答 いま日本の社会、特に奈良県、上牧町もそうであるが、高齢者の方々が大変多くなって来ている。医療が発達したことで、高齢者の方々は長生きをされると…。高齢者の方々が、社会のなかでどのような活躍、活動が出来るのか、これが健康で長寿の求められている一番の基本である。私たちとしては「健康で長生きをして頂く」、これが一番のポイントである。そのためにも町としてもあらゆる施策、出来ることを講じて行きたい。



遠山 健太郎

上牧町を災害に強いまちに！

～防災対策の周知徹底を～

問 上牧町は、防災対策として上牧町地域防災計画を制定し簡易版として『減災のてびき』を作成しホームページでも公開しているが周知できていない。とてもわかりやすいのもっと活用して災害に対する取組みを徹底してほしい。

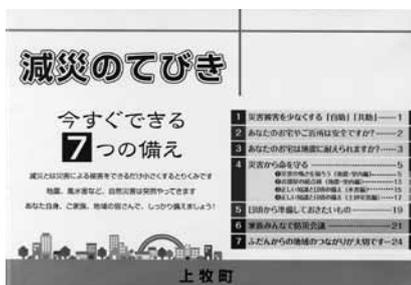
答 住民の皆様になる周知徹底をはかっていきたい。町職員に対しては今まで以上に細部計画も含め周知徹底をはかっていきたい。

問 町内の学校で実施している防災訓練の回数が、年に三回（実際の避難行動訓練は年一回）ではあまりに少なすぎる。回数を増やすよう検討してほしい。

答 回数約束はできないが、増やすよう努める。

問 保護者向けの防災対策の周知や災害発生時の自治会や地元団体との連携についてさらに検討を重ね実行するために、災害に強い組織体制を構築してほしい。

答 次年度以降対応していきたい。



協働のまちづくりをもっと —パークタウン上牧はどこへ行った？—



辻 誠一

問 公募型補助金事業にいくつかの実績があったことは評価する。しかし昨年度は応募が少なく、今年度は予算も半減した。その原因と対策は。

答 原因は自己負担が多いこと、また提出書類がやや煩雑であるのではないかと思う。したがって、補助金の緩和と書式の簡易化を考えている。また、公益性の高いものには補助率を上げることを検討している。市民の皆さんの自由な発想で公益性の高いものを期待したい。

問 昨今の滝川内及びその周辺は異常である。川底に生い茂る雑草や大きな樹木。



左岸側の管理道路の草木もひどい。最近では悪臭がするとの声も聞く。対策は。

答 高田土木に再三お願いに行っている。年一回は草刈実施の回答は得ている。川の中のしゅんせつ・伐採は検討中と聞いている。

(辻) 「楽まち」の会議で奈良県立大学の学生より左岸側にお花を植える提案があった。是非検討を願いたい。



石丸 典子

生ごみ・刈り草・雑木が リサイクルに

問 この10年間で、家庭系可燃ごみと不燃ごみは処理量で約3割減少してきているが、事業系ごみは逆に3割増えている。

平成28年度に焼却の民間委託が予定されており、ごみ排出量の増減が費用に直結する。

家庭系・事業系可燃ごみの減量策は。

答 町では、これまで住民の皆さんの協力により、3R（リサイクル・リユース・リデュース）に取り組んできた。新たに家庭系ごみで、生ごみと刈り草・雑木のたい肥化を検討中である。来年度、学校給食で出る生ごみで試験的に行う。

たい肥化は民間委託だが、焼却の単価より安価となる。

事業系ごみは、平成26年度から大型店舗との総合協力により、生鮮食料品や魚のあらなどの残渣を肥料にリサイクルする業者に処理を委託していた。今後さらに減量のため、他の事業所とも交渉中である。

問 広域・大規模処理施設の計画があるが、プラスチック類の焼却でごみ減量に逆行することのないよう求める。

答 共同の処理に向けて一部事務組合の設立を予定している。協議の中でごみ減量策も出したい。

平成26年度一般会計決算認定 について



服部 公英

問 平成26年度一般会計決算において実質収支に關しては黒字会計となりまして。しかし、経常収支比率は、97・2%と悪化、積立金残高は対前年度比0・1%の減、地方債残高は138億6,709万円となりました。以上の決算状況において経常収支比率悪化の要因と今後の見通しについてお聞かせください。

答 経常収支比率が、昨年に比べて増加している要因につきましては、公債費の第三セクター等改革推進債の償還が始まったこと、人件費の職員給与削減をしていたものを元に戻したこと等により義務的経費が増えたことが要因です。今後の見通しについては削減に努力をしてまいりますが一気の削減はなかなか難しく今後も数値は悪化する予測です。第三セクター等改革推進債の繰上償還を実施し公債費を削減することを主として改善に努め、中長期財政計画もふまえながら対処していきます。



富木 つや子

初めて選挙を経験する 若者への対応について

問 公職選挙法の改正により、来夏の参院選から「18歳選挙権」が実施される予定です。全国で約240万人、全有権者の2%にあたる新有権者が誕生し、若い世代の政治参加が期待されます。上牧町の18歳以上の有権者への今後の対応として、次の点についてお聞きします。

① 今後の周知と認識等の広報は。
② 若者の政治参加への意識を高めるために、教育現場における早い時期からの主権者教育が必要では。
③ 若い世代の選挙に対する意識向上や投票所の工夫は。

答 上牧町の新有権者は、540人で全有権者の2・8%です。①周知等については、ホームページや広報で行ないます。②主権者教育については、本町では、高校生の問題とは捉えず、現在、小学校では政治憲法、中学校では公民で学習しています。今後につきましても、選挙や政治に対する未成年者の関心や責任感を育てる必要があると考えています。③若い世代の意識向上や投票所の工夫ですが、期日前投票所の増設のご意見については、選挙管理委員会に報告します。



長岡 照美

聴覚障がい者福祉の充実 「軽度・中度難聴児へ補聴器購入費助成制度を」

問 全国の聴覚障がい児は15,800人(平成18年)とされています。乳幼児の健診で早い段階で発見できるようにになりましたが、軽度・中度の難聴は、周りに聞こえていないため、そのままにしておくと、言葉の遅れや、発音などの言語発達に支障をきたすと言われています。障害者手帳を持つていない軽度・中度難聴児童が早期に補聴器を装着することで、言語発達や、コミュニケーション能力を高めることができます。補聴器購入補助について伺います。

答 軽度・中度難聴児童の把握は非常に困難です。奈良県では新生児に産科医療機関で検査の説明と同意のもと聴覚スクリーニング検査を行います。上牧町でも早期発見ということで乳児健診、3ヶ月健診でドクターが音の反応等进行检查しています。補聴器購入については、奈良県の難聴児補聴器購入助成事業補助金制度があります。購入の基準価格の2/3を補助するものです。町が助成した経費に対して交付する制度がありますので要綱等(対象者や助成内容、申請手続等)の整備をしていきます。



東 充洋

小中学校における「いじめ」のアンケート調査結果について

問 岩手県でいじめが原因で、中学2年生の少年が列車にひかれ死亡と報じられ中学生という若い命を自ら断つという悲惨な事件がまた起こった。上牧町内の小中学校で実施したいじめアンケート調査結果の報告を求めらる。

答 どの学校もいじめは起こり得るという認識で日々児童生徒を見守り、アンケート調査は平成24年度から実施している。今年度の結果は、町内小学校ではいじめの報告はない。中学校では数件のいじめの報告があった。しかし、ヒヤリング等で解消済みとの報告を受けている。また、体への危害や不登校及び自殺につながるような重大な事象はなかったと報告を受けている。

問 この問題は、先生も親もなかなかかりづらいついのが特徴である。地域が一体となって子どもたちが健やかに育んでほしいと願い、毎日の見守りや花壇の手入れ、草引き、図書室のお手伝いと沢山の人がかかわっておられる。情報を共有し、みんなで取り組む必要があるのではないか。

答 今後は、地域住民皆さんからの援助が受けられるよう情報の整備に取り組みでいきたい。

白浜町議会が視察に

平成27年7月23日に和歌山県白浜町議会から視察に来られました。

白浜町は人口22,410人で議員数は14人です。

視察の目的は、上牧町議会の議会改革の取り組み、議会基本条例の制定、議会インターネット中継



の実施、タブレットの導入についてでした。

白浜町議会の参加された7名の議員から議会報告会などの実施状況や課題などについても質問や意見が出され、今日までの状況や成果について説明をさせていただきました。

また、白浜町は200kmに及ぶ広大な面積で、議員が議会へ出席するにも、距離の遠さに起因する議員への交通費問題など、わが町では考えられない課題など何とことができました。

上牧町議会が先進的な議会運営になるよう一層努力してまいります。



円月島
白浜町HPより

議会日誌

(7月)

- 2日 広報委員会
- 7日 差別をなくす町民集会
- 8日 社会を明るくする運動
- 10日 広報委員会
- 13日 正副議長研修会
- 16日 広報委員会
- 23日 和歌山県白浜町より視察研修議員人権研修会
- 27日 第2回「奈良県にリニアを！の会」奈良県民集会
- 31日

(8月)

- 4日 議員新任研修会
- 24日～25日 奈良県町村議会議長会県外視察研修
- 26日 葛城地区清掃事務組合議会
- 28日 奈良県広域消防組合西和消防報告会
- 31日 町人口ビジョン及び地方版総合戦略審議会(第1回)
- 町総合計画審議会(第1回)

(9月)

- 1日 議会運営委員会
- 3日 第3回定例会(初日)
- 議員懇談会
- 4日 文教厚生委員会
- 7日 総務建設委員会
- 8日～10日 決算特別委員会
- 15日 一般質問(4名)
- 16日 一般質問(4名)
- 17日 第3回定例会(最終日)
- 広報委員会
- 町敬老会
- 地域フォーラム
- 22日 町シルバー人材センター理事会
- 25日 広報委員会
- 29日

編集後記

▼町民の皆さんが、待ちに待ったペガサスホールが8年半ぶりに開館されました。多くの皆さんの利用を願っています。利用しやすいホールにするため、ご意見をお聞かせ下さい。

☎0745-76-10001
☎0745-76-10003
広報委員会

- 委員長 辻 誠一
- 副委員長 康村 昌史
- 委員 長岡 照美
- 委員 遠山健太郎
- 委員 牧浦 秀俊
- 委員 石丸 典子

次回の定例会は 12月7日開催予定

- ・第4回上牧町議会定例会
平成27年12月7日(月)
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成27年12月3日(木)
午前10時から